

# 京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムス

滋賀県支部

発行責任者:馬場 善和

## ○吉川孝二税理士これからが勝負!!



【吉川孝二さん】

滋賀県栗東市で税理士をされている吉川孝二さんをご紹介します。1999年3月経済学部経済学科卒業、2002年3月経済学研究科(大学院)卒業、2004年3月関西大学商学研究科を卒業された。2005年12月税理士試験合格。税理士登録は2008年12月。本格的な開業は昨年8月から、司法書士であった、お兄さんと一緒に税理士・司法書士事務所を開設されました。税理士を目指すきっかけになられたのは恩師である、岡本登太郎名誉教授の財政学のゼミ講義を受講されてからです。当時、京都学園大学院に来られる方の8割程度が税理士資格取得のためでした。同じ目標を持った方が多くおられたので学習環境は良かったです。当時、経済研究科(大学院)に行けば税法3科目が免除になり、簿記論、財務諸表論を受験されました。吉川さんによると税理士の魅力は「様々な業界の経営者の方と現場の生の声を聞くことが出来ることです。」と言われます。吉川さんはさらに滋賀県は都会でないので、税目を限って、仕事ができる状態ではないので、ご依頼いただく仕事はできるだけお引き受けしておられるので毎日が勉強の連続ですがやりがいがありそうです。吉川さんは税理士であるので当然、行政書士の業務もできます。さらに大学2回生のとき、宅地建物取引主任者、測量士補の資格も取得されています。お父さんが司法書士だったので司法書士か不動産業界で働きたかったみたいです。

吉川さんは34歳となり、昨年3月に結婚され、これから本格的な税理士活動のスタートです。ガンバレ!! 尚、6月から同窓会滋賀県支部幹事にも就任して頂きました。どうか同窓会活動にもご協力をお願い致します。最後に税務のご相談がありましたら下記までお願いします。

＝★ 吉川孝二税理士事務所 ★＝

〒520-3014 滋賀県栗東市川辺507番地5

TEL 077-552-8199 FAX 077-552-5693

e-mail yoshikawa-office@ktb.biglobe.ne.jp

# 卒業生頑張っています。

## ○吉川さんと同級生税理士 宮川聡さん



【宮川聡さん(右側)】

第7回滋賀県支部総会 & 研修会に参加された吉川さん、実は、滋賀県支部幹事の宮川聡さん(11期生 1983年経済学部卒)と大学院で同級生でした。宮川さんのお父さんは近江八幡市で税理士事務所を営んでおられたので、宮川さんは40歳時に一念発起して母校の大学院に入学、税理士受験科目の勉強をされ、税理士の資格を取得された。現在、お父さんと一緒に税理士事務所を運営されています。吉川さんにとって、宮川さんは本当に心強い年配同級生の税理士さんです。

## ○内山学長・宮川教授よりエール!!



【内山学長】

吉川君がこのたび税理士として本格的にご活躍を始められるとのこと、誠にご同慶の至りです。消費税率引き上げが政治問題化する昨今、市民の税への関心は否応なしに高まっています。所得の伸び悩む中、節税も私たちの「生活の知恵」のひとつです。税務行政のプロとして地域社会の活性化にますます貢献されますよう心より祈念いたします。



【宮川教授】

吉川君、いよいよ本格的に税理士活動される由、おめでとうございます。大学院でS君やI君たちと毎日遅くまで勉学に励んでいたのをよく覚えています。私たち、学園大学の教職員も全面的にサポートしますので、力になれることがあれば何でも相談してください。今後の活躍を期待します。

## ○税理士養成コースがあります。

母校のホームページを覗くと2009年から専門的職業人としての税理士資格の取得を目指す経済・経営・法学の三研究科共通プログラムとして「税理士養成コース」がスタートしましたと掲載されています。さらに、税理士は税務署への申告書の作成を代理するだけでなく、決算書類の作成や会計帳簿の記帳代行など会計業務および経営指導業務も担当します。さらに税理士は近年、民間企業の会計参与や地方公共団体の外部監査人として認定され、より幅の広い職域で活躍でき、税理士はやりがいのある仕事です。

同窓会  
滋賀県支部

## 【編集後記】

私は家庭菜園で夏野菜(トマト、ナスビ、キュウリ、唐辛子、スイカ)の苗を植えて生長して、自分の好みで一房毎、完熟時に収穫して自分で料理するのが毎年、梅雨からお盆までの楽しみです。今年は梅雨の雨量が多く、きゅうりと唐辛子の生長が悪く、心配しています。子供二人は、トマトが大好きのため、毎年少しづつ、トマトの植付面積が増えてきています。毎年、トマトの品種は大粒の収穫が予想される「桃太郎」だけでしたが、今年は中粒で糖度の高い「フルーツトマト」と大粒で育て易いと評判の「麗華」の品種にチャレンジしています。トマトは雨を嫌う性格で、脇芽がでるとすぐ取ってやって、根元の風通をよくして育てています。昨年は、伏見甘長の唐辛子がなんと11月頃まで収穫できてびっくり致しました。最近、家族だけでは食べきれないので、近隣の方や、勤務先の皆さんにお分けして、大切なコミュニケーションの一環として、趣味を兼ねて楽しんでいます。タイムズ21号は滋賀県支部役員で税理士として頑張っている二人を掲載しました。内山学長、宮川教授にはご無理をお願いして、吉川君に激励文を頂きまして申し訳ございませんでした。

